

珍しい管弦楽曲 ポーランド Minor Orchestra Works Poland

作曲者		生没年	曲名	評価 ★★★★★:ぜひ聞いて欲しい ☆☆☆☆:聞く価値はある ※※:どちらとも言えない ×:聞く価値なし	コメント	○の曲のスコアは保有しています。	CD番号	レーベル
Zygmunt Noskowski	ノスコフスキ	1846-1909	交響詩「大草原」	※※	20分。ノスコフスキの作品の中では、良く演奏される曲とのこと。時折、聞き映えのする部分があります。		C5547	Capriccio
Zygmunt Stojowski	ストヨフスキ	1870-1946	管弦楽のための組曲(1891)	※※	3曲で25分。1曲目の主題と変奏は軽く始まりますが、進むにしたがって大変盛り上がります。2, 3曲目は余り魅力がありません。		C5464	Capriccio
Witold Maliszewski	マリシェフスキ	1873-1939	序曲”歓喜”(1902)	※※	特に歓喜は感じません。(11分)		DUX 1716/17/18	DUX
			シューベルトを讃えるスケルツォと序曲(1928)	★★★★★	シューベルトの没後100年を記念したコロンビアレコードの作曲コンクールの応募作品。ポーランドの国内予選で2位。未完成交響曲の第3, 4楽章を補うものの。スケルツォ:シューベルトが書き残した第3楽章の断片が登場。(6分)序曲は未完成交響曲冒頭の主題で始まり、第7交響曲の旋律なども登場。(10分)一度聞いた後、何回も聞きなおしたくなります。			
			おとぎ話(1930)	※※	タイトル通りの雰囲気曲。特に聴きどころ無し。(8分)			
			伝説1930)	※※	タイトル通りの雰囲気曲。時に聞き映えのする部分もある。(13分)			
Mieczyslaw Karlowicz	カルウォヴィチ	1876-1909	白孔雀に寄せる音楽(1900)	☆☆☆☆	劇の付随音楽からプロローグと間奏曲の2曲。プロローグは豪華な音がします。(16分)		8.572487	NAXOS
Raul Koczalski	コチャルスキ	1885-1948	交響的伝説(1895)	×	作曲者が9歳の時の作品。稚拙な作品としかいえません。		AP0505	Arte Prealable
			愛より	※※	管弦楽伴奏の7曲の歌曲。			
Paul Kletzki	クレツキ	1900-1973	管弦楽のための変奏曲(1929)	※※	17分。オーケストラは良く鳴っています。		MGB CD 6272	MIGROS

Grazyna Bacewic	バツェヴィチ	1909-1969	序曲(1943)	☆☆☆☆	6分。はなやかで聞きやすい曲です。20世紀のポーランド音楽で最も演奏される曲の一つとのことです。		555660 CHSA5316	cpo Chandos
			管弦楽のための変奏曲 (1957)	※※	10分。よく鳴る部分もあるが、面白みがない。		555660	cpo
			3楽章の交響的音楽 (1965)	※※	17分。現代音楽に近づいています。		555660	cpo
Mieczyslaw Weinberg	ヴァインベルグ	1919-1996	夜明け(1957)	☆☆☆☆	17分。ショスタコービッチの交響曲第11番と同じ機会(7月革命の40周年)のために作曲されたとのこと。しかし演奏はされず初演は2019年のこのCD。革命後の勝利という気分はよく出ています。		CHAN20165	CHANDOS
Krzysztof Penderecki	ペンデレッキ	1933-2020	ポルモルフィア(1961)	×	弦楽合奏のための作品。現代音楽です。楽器が壊れないかと心配するような音が続きます。(11分)		8.55798	NAXOS
			ポーランドレクイエムから シャコンヌ(2005)	☆☆☆☆	弦楽合奏曲。上の曲の作曲者とは思えない甘い感傷的な旋律が聞けます。(7分)		8.55798	NAXOS